

万博記念公園 自然ものがたり①

園内の“自然ふれあい”を紹介するページ

(公社)大阪自然環境保全協会

生きもの見わけ方ボランティア養成講座(上)

トンボ

	2014年の日程	テーマ	講師
1	6月 8日(日)	トンボ	谷 幸三
2	6月15日(日)	水生生物	谷 幸三
3	8月 3日(日)	セミ・チョウ	今井 健介
4	9月21日(日)	シダ	村上健太郎
5	10月 5日(日)	キノコ	大藪 崇司
6	11月 9日(日)	樹木	田端 敬三
7	12月 7日(日)	野鳥	杉田 福松



万博記念公園の身近な生きものや植物に親しみ、その特性などを学び、基本的な見分け方のノウハウを身につける講座です。園内の“生きもの調査”にボランティアで参加していただくこともめざしています。

園内の自然をよく知る専門家から、実際のフィールドで自然に触れながら生きものについて多くの知識が得られ、各講師の先生の個性がそれぞれ楽しかったとの感想に加え、冬季にも実施して欲しいとの希望もありました。



シオカラトンボのオス(上)とメス(下)

水生生物

受講生たちの一言感想



- ◇ オス・メスの見わけ方から定点行動観察での縄張り行動などを見て、継続して生活(活動)しているのが解って、本当に興味深く楽しかった。
- ◇ トンボの種類ではなく、その行動や生態を観察する面白さを教えていただきました。
- ◇ とんぼのオスどうしは、それぞれなわばりがあり、なわばりを守っているところがおもしろかった。



いろいろなトンボのヤゴ

セミ・チョウ



受講生たちの一言感想

- ◇ チョウは、あまり見れなかったけれどセミの抜けがらはたくさん集まり、とれたデータが毎年同じような結果になっておもしろかった。セミの雄は、アピール等で鳴くけど、種類によって鳴く時間が違うことが面白いと思いました。
- ◇ チョウやトンボをとるよりも簡単に集められたセミの抜け殻とり。面白かったです。集計をし、今までのデータより様々なことがわかってくるのは、すごいなと思いました。
- ◇ 生のセミをはじめ昆虫(わかってないこと、オスメスのこと.etc)のお話。みんなでぬけがらあつめたこと。数が集められて単純で楽しかった。

◆公園内では一般来園者の生物の捕獲は禁じられています



- ◇ 何十年ぶりに童心にかえりました。網で魚をすくったり、手でつかまえたりして、良い経験になりました。自然は、いろいろな生物が活着ているのを実感しました。
- ◇ エコシステムを考えさせられるいい講義でした。生産者、消費者、分解者という言葉をよく理解でき、生態系を大切にしたいと思いました。有難うございました。
- ◇ ヤゴからトンボになるには、5年かかるのや7年かかるのがあるのを知りました。川や池をすめる環境にしておかなければと痛感しました。谷先生、楽しくてわかりやすく好きです。



4種のセミのぬけがら

